

都市再生整備計画(第10回変更)

しんかんせんしんあおもりえき あおもりえきしゅうへん
新幹線新青森駅・青森駅周辺地区

あおもりけん あおもりし
青森県 青森市

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	青森県	市町村名	青森市	地区名	新幹線新青森駅・青森駅周辺地区	面積	278 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標

大目標:新幹線駅周辺地区と中心市街地との役割分担と連携強化による魅力的なまちづくり

目標1 港町あおもりの魅力再生と新たな魅力づくりによる中心市街地活性化

目標2 新幹線新青森駅と青森駅との連携強化と交通機能強化による利便性の向上

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・青森市は、本州と北海道を結ぶ物流拠点として、青森駅や青森港を中心に発展してきた港町であり、その中心市街地は商業・交通・サービス・観光・文化など様々な機能が集中し、長い間都市の顔としての役割を担ってきたが、青函連絡船の廃止や郊外店の立地、図書館、病院等の郊外移転などにより、拠点性が薄れ、当時の活力がなくなってきている。
- ・「青森都市計画マスタープラン」においてまちづくりの基本理念を「コンパクトシティの形成」と掲げ、中心市街地の活性化と無秩序な市街地拡大を抑制することとしている。このため、中心市街地と新幹線駅周辺地区を重点整備地区と位置づけ、各々連携を図りながら、整備を進めていくこととしている。
- ・中心市街地の活性化に向けては、中心市街地活性化基本計画(改正前)を策定し、駅前再開発事業やウォーターフロント地区の整備を進めてきた。
- ・平成16年12月16日には、整備新幹線に関する政府・与党申合せにより、新幹線新青森駅については、平成22年度末の完成を目指すこととされ、あわせて北海道新幹線についても平成27年度末の完成を目指すこととされた。
- ・現青森駅周辺地区については、平成16年度に策定した「青森駅周辺整備基本構想」や「東北新幹線新青森駅開業対策に関する基本方針」において、駅・駅前広場の総合交通ターミナル機能強化と駅・港・まちが隣接しているという特性を活かしたさらなる魅力づくりを進めるため、マリナー周辺地区の整備を行っていくこととしている。
- ・青森駅を中心とした中心市街地から西方約4kmに位置する新幹線新青森駅周辺地区は、中心市街地と競合しないように、新幹線利用者の利便性を考慮した駅前広場や幹線道路、駐車場等の交通拠点施設を中心にまちづくりをすることとしている。
- ・両地区の整備については、青森商工会議所や青森駅周辺地区の事業主・住民等においても新幹線開業に向けたまちづくりなどに関する検討機関を組織するなど、官民一体となった検討が行われている。
- ・平成17年には青森駅周辺整備に関し、専門家や学識経験者、市民からなる検討組織を発足し、新幹線開業に向けた整備計画を策定した。
- ・平成18年には、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的・一体的に推進するため、改正法に基づく新青森市中心市街地基本計画を策定し、19年2月、国の認定を受けた。

課題

- ・新幹線新青森駅は本市の中心市街地から西方約4kmの位置に整備されることから、その開業効果を本市の顔であり、商業・観光等の都市機能が集中している中心市街地の活性化に繋げる必要がある。
- ・青森駅に近い青森港地区では、県観光物産館、港湾緑地、大型客船バースなどの整備が進められてきているが、十分に活用されているとは言えず、これらとの連携による駅・港・まちが隣接しているという本市の特性を活かした魅力づくりが必要である。
- ・青森駅前広場は、現在、歩行者・自転車・自動車等のあらゆる交通手段が複雑に錯綜しており、新幹線開業後の交通環境変化を見据え、利便性・機能性向上のための整備が必要である。
- ・新幹線新青森駅と青森駅の利用者に対し、的確な情報発信が必要となることからそれぞれの役割分担と利便性向上のための整備が必要である。
- ・新幹線で訪問される多くの観光客に「青森らしさ」を印象付けるための景観形成を図る必要がある。
- ・中心市街地活性化のため、ウォーカーブルタウンの創造(「歩いて回ることのできる質の高い生活空間」として再構築すること)を、より強く推進する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

新幹線駅周辺地区と中心市街地との役割分担と連携強化により、市民にも来訪者にも魅力的なコンパクトなまちづくり

- ・都市計画マスタープランにおいて、都市拠点を位置づけ、青森駅のある中心市街地を賑わい機能を担う地区、新幹線駅が整備される石江地区を広域交流拠点としての玄関口と位置づけ、各拠点の機能分担と連絡強化を図りながら、利便性や効率性などに優れたコンパクトシティの形成を目指すこととしている。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	目標年度	
				基準年度	目標年度	目標年度	
1. 中心市街地の歩行者通行量	人/日	新幹線開業後(H23)における青森駅前や周辺地区の歩行者通行量	港町青森の特色を活かし、青森駅周辺地区の拠点性・集客力の強化と本地区における様々な施策との連携を図ることによって、中心市街地の歩行者数の増加を図り、地区全体での賑わいを創出する。	59,090	76,000	H17	H22
2. 観光レクリエーション客入込数	万人/年	新幹線開業後(H23)における主要観光行事・主要観光施設の年間入込客数	新幹線開業効果を活かし、広域的な情報発信等により年間を通じた観光客の増加を図る。	510	663	H16	H22
3. 新青森駅・青森駅の乗降客数	万人/年	新幹線開業後(H23)における新青森駅及び青森駅における乗降客数	新青森駅及び青森駅の案内機能・交通環境の向上と良好な景観形成により、駅利用者の利便性・快適性の向上を図る。	620	672	H16	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>中心市街地活性化のための魅力づくり</p> <p>・新幹線開業によりその役割が大きく変化する青森駅周辺地区において、開業効果を十分に受け止めるため、市民と観光客の賑わい空間、文化の交流空間形成に向け、文化観光交流施設(地域交流センター・観光交流センターの合築)整備と港町青森を記憶付ける青函連絡船を活かした魅力づくり、既存施設を活用した市民ホール(地域交流センター)、民間主体による魅力づくりの促進(中心市街地にぎわいプラス資金融資)により中心市街地の活性化を図る。</p>	<p>・高次都市施設(基幹事業:地域交流センター、観光交流センター)</p> <p>・地域創造支援事業(提案事業:展示・便益施設整備、中心市街地にぎわいプラス資金融資(保証料補助))</p> <p>・地域生活基盤施設(まちなか散策コースサイン整備等)</p>
<p>新幹線新青森駅及び青森駅利用者の利便性向上</p> <p>・新幹線開業に伴い、交通便利性・快適性が向上する新青森駅周辺地区において、周辺住民や新幹線駅利用者へ公共サービスやまちなか情報など様々な情報の発信の場となる情報センターを整備し、駅利用者の利便性の向上を図る。また、中心市街地の玄関口である青森駅周辺地区において、総合交通ターミナル機能の強化を図るため、青森駅前広場と観光交流情報センター、周辺道路の一体的な整備により、街歩きしやすい環境づくりを行うとともに、公共交通利用の利便性の向上を図る。</p>	<p>・道路(基幹事業:市道青柳橋通り線、市道石森橋通り線、市道柳川一丁目5号線)</p> <p>・地域生活基盤施設(基幹事業:青森駅東口駅前広場)</p> <p>・高次都市施設(基幹事業:青森駅観光交流情報センター、新青森駅観光情報センター)</p>
<p>利便性・快適性の高い憩い空間形成</p> <p>・新幹線新青森駅利用者の利便性・快適性の向上のため、緑豊かな「青森らしい」景観形成に向けた駅前公園や駅前大通り線の高質空間形成を行う。</p>	<p>・高質空間形成施設(基幹事業:バリアフリー対応トイレ等)</p> <p>・地域創造支援事業(提案事業:区画整理促進(公共用地取得))</p> <p>・公園事業(関連事業:新青森駅駅前公園)等</p>
<p>その他</p> <p>・平成17年9月には、青森商工会議所を中心に組織された「新幹線新青森駅開業対策推進会議」での検討により、新青森駅・青森駅周辺地区の活性化についてのアクションプランが策定されている。</p> <p>・青森駅前市街地再開発事業により、平成13年には市民図書館、男女共同参画プラザなどの公共施設と市場、商業施設などの複合施設である駅前再開発ビルがオープンし、また、平成18年1月にはケアハウス、クリニック、店舗等を併設するシニア対応型マンションが完成している。</p> <p>・青森駅前広場の交通環境改善に向け、広場内や周辺道路の交通量等の調査を行い、平成18年7月には、利便性・快適性の高い駅前広場と中心部の交通処理に関する計画を策定した。</p> <p>・青森駅前にイベントなど多様な利用が可能な駅前公園が平成18年12月に完成している。</p> <p>・中心市街地においては、現在、民間事業者によるマンションの建設が盛んに行われ、平成19年までに約850戸が整備予定となっている。</p> <p>・平成18年10月末には、青森駅周辺に立地し中心市街地の文化芸術活動の拠点となる多目的ホールが閉館し、地域の活性化やにぎわい再生の支障となることから当該施設を取得し、平成19年4月市民ホールとしてオープンした。</p> <p>・平成20年11月には、東北新幹線新青森駅開業の開業目標時期について、これまで目標とされていた平成22年度末より3ヶ月早い平成22年12月とされた。</p>	

都市再生整備計画の区域

<p>新幹線新青森駅・青森駅周辺地区(青森県青森市)</p>	<p>面積 278 ha</p>	<p>区域 青森市安方一丁目、二丁目、新町一丁目、二丁目、古川一丁目、二丁目、千刈一丁目、二丁目の全部、長島一丁目、本町一丁目、二丁目、三丁目、古川二丁目、柳川一丁目、石江字三好、石江字高間、石江字岡部、石江字江渡、新城字平岡、新城字福田の一部</p>
--------------------------------	------------------	--

